

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年8月8日(2013.8.8)

【公開番号】特開2011-248041(P2011-248041A)

【公開日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2011-049

【出願番号】特願2010-120205(P2010-120205)

【国際特許分類】

G 03 B 21/14 (2006.01)

G 03 B 21/00 (2006.01)

H 04 N 5/74 (2006.01)

【F I】

G 03 B 21/14 E

G 03 B 21/00 D

H 04 N 5/74 E

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月26日(2013.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0090

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0090】

ライトガイドLG(導光部材)は、光源部LS1が発光した光源光を導光するものである。例えばライトガイドLGは、光源部LS1からの光源光を曲線状の導光経路に沿って導光し、その形状は曲線形状になっている。具体的には図9(A)ではライトガイドLGは円弧形状になっている。なお図9(A)ではライトガイドLGはその中心角が180度の円弧形状になっているが、中心角が180度よりも小さい円弧形状であってもよい。ライトガイドLGは、例えばアクリル樹脂やポリカーボネートなどの透明な樹脂部材等により形成される。そして光源部LS1からの光源光は、ライトガイドLGの一端側(図9(A)では左側)の光入射面に入射される。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0105

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0105】

$$G_a / G_b = (f_a / f_b) \cdot (I_a / I_b) \quad (5)$$

ここで $G_a / G_b$ は、受光部RUでの受光結果から特定することができ、 $I_a / I_b$ は、制御部60による照射部EUの制御量から特定することができる。そして図10(A)の強度INTa、INTbと減衰係数fa、fbとは一意の関係にある。例えば減衰係数fa、fbが小さな値となり、減衰量が大きい場合は、強度INTa、INTbが小さいことを意味する。一方、減衰係数fa、fbが大きな値となり、減衰量が小さい場合は、強度INTa、INTbが大きいことを意味する。従って、上式(5)から減衰係数の比fa/fbを求めることで、対象物の方向、位置等を求めることが可能になる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0118

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 8】

また図11の光源部LS1についてはライトガイドLGの一端側に設けると共に、光源部LS2については第2のライトガイドの他端側に設ける。